



広報佐野日大

SANONICHIDAI



vol.
241
2025.5.31



TOPICS

- ・【入学式】 校長式辞、来賓祝辞、新入生の新たな門出
- ・【学校生活】 サッカー部ドイツ遠征、SANICHIコモンズ竣工、日大DAY
- ・【部活動】 ^{ひか}輝る佐日旋風



© 2024 Hikari Ichimura

校長式辞

高い志を持ち、夢に向かって「挑戦」を

校長 高原 健治



春の訪れを感じる今日の佳き日に、令和7年度佐野日本大学高等学校の入学式を挙げていきますことを、心より嬉しく思います。

日本大学から学長 大貫進一郎先生のご名代として、日本大学 副学

長 兼板佳孝先生をはじめ、ご来賓の皆様には、公私ともにご多用の中で臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様のご臨席を得て、本日このように盛大に式典を執り行うことができますことに、心より感謝申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れ姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。これまでの深い愛情と温かなご指導に、心より敬意を表しますとともに、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました、第62期生388名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は昭和39年に日本大学の付属高等学校として開校し、60年を超える歴史の中で、多くの先輩方が学び、伝統を築いてきました。本校には、時代を超えて受け継がれる3つの校訓があります。

「自主創造」「文武両道」「師弟同行」

この校訓は、長年にわたり本校の教育の根幹をなし、多くの卒業生がこの精神を胸に刻み、社会で活躍する礎となってきました。新入生の皆さんも、これからの3年間でこの校訓をしっかりと心に刻み、それぞれの道を切り拓いていってください。

「自主創造」とは、日本大学の教育理念でもあります。自ら学び、自分の頭で考え、主体的に行動し、自らの道を切り拓いていく力を意味します。これからの社会は、グローバル化の進展やAI技術の急速な発展により、私たちの生活や働き方が大きく変わる時代です。もはや過去の成功モデルに頼ることはできず、自ら考え、新しい価値を生み出す力が求められています。「正解のない時代」とも言われる現代において、皆さんには、受け身ではなく、主体的に学ぶ姿勢が求められます。自ら課題を見つけ、解決策を模索し、挑戦していく。その積み重ねが、未来への扉を開く原動力となります。

「文武両道」とは、学業における確かな学力を身につけること、そして部活動や課外活動を通じて心身を鍛え、困難を乗り越える力を養うことです。本校には、全国大会に出場する運動部・文化部をはじめ、多くの部活動や行事があります。充実した環境の中で、自らの限界を決めることなく挑戦を続けてください。その努力の積み重ねこそが、皆さんの未来の可能性を大きく広がります。

「師弟同行」とは、教師と生徒が共に学び、互いに高め合うことです。本校の教職員は、皆さん一人ひとりの可能性を信じ、全力で指導にあたります。皆さんも、自ら学ぶ意欲を持ち、先生方との対話を大切にしてください。その関わりの中でこそ学びは深まり、大きな成長へとつながります。

さて、新入生の皆さんがこれからの高校生活をより充実したものにするために、2つのことをお話します。

1つ目は、「挑戦すること」。高い志を持ち、自分の夢に挑戦してください。そして、その夢を実現させてください。

「立志は万事の根源なり」これは、日本大学の礎を築かれた学祖・山田顕義先生が学んだ松下村塾の吉田松陰先生の言葉です。志を持つことがすべての始まりです。志があれば、人はどんな困難にも立ち向かうことができます。挑戦には、失敗が伴います。しかし、失敗を恐れずに挑み続けることで、人は成長します。新たなことに挑戦し、自分の限界を超え、新たな可能性を広げてください。

2つ目は、「他者を思いやり、よき友人をつくること」。学校は、仲間と共に学び、支え合う場です。自主創造の精神を育みながら、互いに学び合い、励まし合うクラスの雰囲気をつくってください。他者を尊重し、思いやる心を持つことが、充実した高校生活につながります。また、人は人とのふれあいを通して心を豊かにします。特に高校時代に築いた友情は、生涯にわたる支えとなるでしょう。文武両道の精神のもと、学業に励み、部活動や学校行事に積極的に参加する中で生まれる友情を大切にしてください。人の生き方や考え方に最も影響を与えるもの、それは「人との出会い」です。クラスの仲間や先輩・後輩との出会いを大切にし、かけがえのない友情を育んでください。それは、皆さんの一生の宝となるはずです。

結びに、私たち教職員は、新入生の皆さん一人ひとりの可能性を信じ、全力を挙げて教育活動に邁進してまいります。保護者の皆様におかれましても、お子様の成長を温かく見守り、ときに励ましながらか、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、高校生活の3年間は、人生においてかけがえのない時間です。自らの夢に向かい、努力を惜しまず、充実した日々を送ってください。皆さんのこれからの活躍を、大いに期待しています。

改めまして、新入生の皆さんのご入学を心よりお祝い申し上げます。





祝 辞

日本大学学長 大 貫 進一郎
日本大学短期大学部学長

本日、御来賓の御臨席並びに多数の保護者の皆様の御列席を賜り、ここに令和7年度佐野日本大学高等学校の入学式が盛大に挙行されますこと、心よりお祝いを申し上げます。

日本大学を代表し、お祝いの言葉を申し上げます。

新入生の皆さん、改めまして御入学おめでとうございます。多くの選択肢の中から本校を選んでくださった、皆さんを心から歓迎するとともに、その期待に応えるべく、一人ひとりの未来作りをサポートして参ります。

保護者の皆様、お子様の御入学に際し、心よりお祝いを申し上げます。

お子様が正課内外の活動を通して大きく成長できるよう、教職員一同、丁寧に教育に当たって参ります。本校の教育方針を御理解いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

日本大学は、1889年に創立された日本法律学校を前身とし、「自主創造」を教育理念としています。欧米の法制度を積極的に取り入れる風潮にあった明治時代、学祖である山田顕義は、海外視察で広めた見聞に基づいて、日本固有の文化や風土に合った法律の必要性を感じるようになりました。これを教授する機関として設立されたのが、先の日本法律学校であり、前例に捉われず、新たな領域に挑戦するこの精神が「自主創造」という、本学の教育理念として受け継がれています。「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」という「自主創造」の三つの柱を、皆さんも在籍期間を通して積極的に表現されることを大いに期待しています。

さて、新入生の皆さんが、これから学園生活を始めるに当たり、大切にしたい三つのことをお話しさせていただきます。

一つ目は、「経験」です。前向きに新しいことに挑み、自身の道を開拓することは皆さんの特権でもあります。

単なる机上の空論ではなく、自ら実際に「経験」し、そこから学ぶことを大いに楽しんでください。もちろん、その全てが成功裏に終わらないかもしれませんが、そうであっても、自ら「経験」したことは次のステップで必ず活かすことができますし、うまくいかなかった理由をしっかりと省察することでさらなる成長につながります。

二つ目は、「責任」です。皆さんは、今までよりも自身の意志に基づいて行動できるようになるでしょう。もちろんこれは成長の証ですが、この広がる自由度と表裏一体にあるのが「責任」です。自ら判断して行ったことには「責任」を持つこととなりますので、この点はしっかりと心に留めておいてください。

三つ目は、「つながり」です。デジタル化が進む今日からこそ、人と人との対面のコミュニケーションはより重要度を増しています。昨年行われたある研究機関の調査では、10代の44パーセントが「SNSの方が自分らしくいられる」と回答しています。もちろん高い利便性や即時性、日常の世界を超えた幅広いコミュニケーションが可能であるということは大きな利点であるのですが、一方で、SNSをめぐるトラブルも多く起こっているのが実情です。対面のコミュニケーションでは、相手の表情や仕草、声の強弱、息づかい、距離感や空気感などを自然と感ずることが出来ます。しかし、人間ならではのこの感覚は、SNSでの世界では感じ取りにくいものがありますし、この感覚を現実世界でどれだけ経験しているかが仮想世界を安心安全に楽しむためにも必要となります。これからの学園生活では、また新たな仲間や教職員との出会いがありますので、是非その「つながり」を大切にさせていただくとともに、対面での関わり合いを通して自身を磨いていただきたいと思います。

結びとなりますが、今日を迎えられたのは皆さんの努力はもとより、御家族をはじめとする周囲の方々の支えによるものだと存じます。感謝の気持ちを常に忘れず、一日一日を大切に過ごしながら、卒業時には、今以上に輝いていられるようにしてください。そのためにも、スタートラインを切った今日、在籍中の目標を是非立ててください。勉強面でもそれ以外の分野でも構いません。3年間は、本当にあつという間ですので、大きな目標とそれに向けたステップを逆算的に定めていただき、目標達成を現実的なものとしていただければと思います。新入生の皆さん一人ひとりが、有意義で充実した学園生活を送られることを祈念し、私の祝辞といたします。



祝 辞

PTA会長代行 副会長
井 上 純 道

佐野日本大学高等学校へのご入学おめでとうございます。また、御来賓の皆様には、ご多忙の中、新入生の門出を共にお祝いいただきありがとうございます。

PTAを代表して一言ご挨拶申し上げます。

みなさんは厳しい受験を乗り越えて佐野日本大学高等学校に入学されました。ここ佐野日大は、昨年60周年を迎えた伝統と歴史ある学校です。「自主創造 文武両道 師弟同行」を校訓として心身ともに健全で勉学だけでなく、スポーツ・文化活動にも力を注ぎバランスのとれた教育を行っています。中学校の生活とは違った環境になりますが、早く生活に慣れて欲しいと思います。

さて、みなさんはかつてメジャーリーグで活躍したイチローという選手をご存じですか。彼は小学校の卒業文集で「将来の夢はプロ野球選手になる」と書いたそうです。イチローは天才だから、才能があるからあんなにヒットを打てたのだと思う人もいるかもしれませんが、しかし、

実は人の何倍も努力をした結果だそうです。小学校2年生から中学を卒業するまでの7年間、ほぼ毎日バッティングの自主練習をしたそうです。彼の偉業は、野球が好きだからどうしたら打てるようになるのか常に自分で考え行動した結果と言えます。

「百聞は一見に如かず」という言葉があります。いくら人から聞いても、自分で見なければ本当のことは分からないという意味ですが、この言葉には後世の人が残した続きがあります。

「百見は一考に如かず」です。いくらたくさん見ても自分で考えなければ意味がないということです。

さらに「百考は一行に如かず」と続きます。どんなに考えても行動を起こさなければ前に進まないという意味です。みなさんも自ら行動する人になってください。私たちPTAも学校行事や運営を通じてみなさんの生活を精一杯応援していきます。

保護者の皆様におかれましてはこれから子どもたちが充実した学校生活が送れますようにPTA活動にご理解、ご協力、ご参加いただきますようお願いいたします。是非、本校の良さを実際に感じていただき、お子様が成人へと向かう大切な成長期を先生方と一緒に見守ってあげてください。

結びに、新入生のみなさんのご健勝とご活躍を心から願ひ、祝辞とさせていただきます。



姉妹校からのメッセージ



Dear new students

On behalf of everyone at Stratford Girls' Grammar School in England, I extend a warm welcome and best wishes as you start this exciting new chapter in your education. We are very happy and fortunate to be partnered with your wonderful school. Like your school, we believe in helping each student grow and succeed. Developing skills and attributes in these areas will ensure that you are able to fulfil your potential and be ready for the world beyond school. Our students are eager to connect with you and share their experiences along the way. We hope, therefore, to work with you and your teachers as you explore your interests, develop your skills, and make new friends. Good Luck!

Jacqui Cornell
Stratford Girls' Grammar School
Headteacher

新入生の皆さんへ

イギリス、ストラットフォード・ガールズ・グラマースクールを代表して、皆さんの佐野日本大学高等学校御入学と新たな門出をお祝い申し上げます。私たちの学校と佐野日本大学高等学校が姉妹校として提携していることを、大変光栄に思っています。佐野日本大学高等学校と同様に、私たちの学校も、生徒一人ひとりが互いに助け合い、その成長を支援できることを誇りに思っています。自分の能力や資質を伸ばすことによって、皆さんは、自身の潜在能力を開花させ、学校卒業後の世界で活躍する礎を築くことができます。私たちの生徒たちは、皆さんとの交流を通して、共に学び合い経験を分かち合うことを楽しみにしています。皆さんが、学校の仲間や先生方と協力し合い、自分の興味を追求し、能力を磨き、新たな友人を作っていくことを願っています。皆さんの今後のご活躍とご成功を心よりお祈り申し上げます。

ストラットフォード・ガールズ・グラマースクール校長
ジャッキー・コーネル

新入生の皆さんへ

佐野日本大学高等学校の姉妹校である、イギリス、ストラットフォード・アボン・エイボンにあるキングエドワード6世校から、ご挨拶申し上げます。

皆さんの胸をときめかせる新しい学校生活が始まるにあたり、シェークスピアの言葉を贈りたいと思います。シェークスピアはキングエドワード6世校の名誉ある卒業生です。

「自分自身に正直であれ」（『ハムレット』より）

自分自身に正直であり続けることが、あなたにとって最大の力となります。あなたの個性、興味、夢を大切にしてください。目立つことを恐れず、安易な道を選ばず、挑戦を恐れないでください。あなたの持つ人間性があなたを特別な存在にし、成功へと導くのです。

学校生活を送る中で、友情を深め、困難にも立ち向かわなければならない時があるでしょう。その過程でこそ、あなた自身を輝かせてください。自分に正直で、周りの人にも誠実であり続けてください。あなたの価値観に基づいた選択をしてください。自分に正直であることで、あなたは自分の夢を実現するだけでなく、周りの人々にも良い影響を与えることになるでしょう。

皆さんの幸せと成功を心から願っています。

キングエドワード6世校校長
ベネット・カー

Dear New Students

Greetings from King Edward VI School in Stratford-upon-Avon, United Kingdom.

As you embark on this exciting journey through school, I would like to share with you the wise words of William Shakespeare, our esteemed former student: **"To thine own self be true."**

Staying true to yourself is your greatest strength. Embrace your unique qualities, interests and aspirations. Do not be afraid to stand out or take the road less travelled. Your individuality is what makes you special and will guide you to success.

As you navigate through school, build friendships, and face challenges, let your true self shine. Be honest with yourself and others, and make choices that reflect your values. By being true to yourself, you will not only find personal fulfilment but also inspire those around you.

I wish you every happiness and success.

Yours sincerely,
Bennet Carr
King Edward VI School
Headmaster

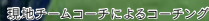


入学式 新入生の新たな門出

在校生代表として生徒会長の田部井瑠那さん（3年・館林・第三中）が歓迎の言葉を述べ、新入生を温かく迎え入れました。新入生は緊張した面持ちながらこれからの学校生活への期待に胸を膨らませているようでした。



3月7日(金)～17日(月)、サッカー部24名がドイツ遠征を実施しました。現地学生との交流を行うとともに、現地チーム「ボフム」、「マインツ」のコーチによるコーチングを受けました。また、ブンデスリーガ観戦やユースチームとのトレーニングマッチ、元日本代表の岡崎慎司氏から直接指導を受けるなど、充実した日々を過ごすことができました。部員たちは積極的に交流をはかり、サッカーを通じて異国の文化を学ぶとともに、今後の活動への決意を新たにしました。



3月31日(月)、待望のSANICHIコモンズが竣工しました。生徒たちの憩いの場として毎日にぎわっています。学習スペースやレストランは、木材のぬくもりと落ち着いた雰囲気を感じることができ、説明会や演奏会、また授業にも多目的に活用していく予定です。



高大連携教育の一環として日大DAYと称し、日本大学の各学部より学部長をはじめ講師の先生をお招きして学部説明会を実施しました。

法学部、商学部、経済学部（4月19日）
理工学部、工学部、生産工学部、
生物資源科学部、文理学部、国際関係学部（4月26日）

芸術学部、危機管理学部、スポーツ科学部（4月19日）
医学部、薬学部、歯学部、松戸歯学部（4月26日）

は、と、一息エピソード ～佐日サッカー部 ドイツ遠征中での一コマ～



ひか 輝る 佐日旋風

全国大会出場おめでとう!

水泳部



ジュニアオリンピックカップ
女子50mバタフライ優勝!

3月27日(木)～30日(日)に東京都江東区にある東京アクアティクスセンターで行われた第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会において後藤結愛さん(3年・佐野・西中)が女子50mバタフライで第1位、女子100mバタフライで第3位、女子50m自由形で第3位と3つのメダルを獲得しました。

また、3月20日(木)～23日(日)に同会場で行われた第100回日本選手権水泳競技大会にも出場し、女子50mバタフライと100mバタフライの2種目で活躍しました。

ゴルフ部



3月19日(水)～21日(金)に兵庫県にあるオリムピックゴルフ倶楽部・チェリーヒルズゴルフクラブで行われた全国高校ゴルフ選手権春季大会に男子4名、女子2名の計6名が出場しました。

剣道部

3月26日(水)～28日(金)に愛知県にある春日井市総合体育館で行われた第34回全国高校剣道選抜大会に出場しました。



スキー部

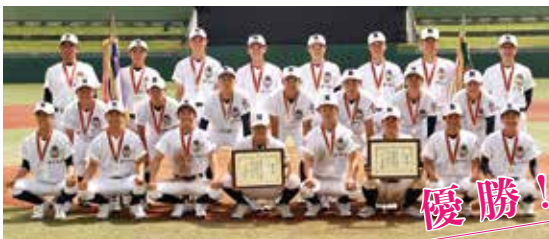
2月7日(金)～11日(火)に北海道にある国設阿寒湖畔スキー場で行われた第74回全国高校スキー大会に工藤杏那さん(2年・小山・大谷中)が女子回転・大回転の2種目に出場しました。



● 関東大会出場決定 ●

予選大会結果
速報

硬式野球部



優勝!

4月12日(土)～5月4日(日)に行われた第78回春季栃木県高校野球大会の決勝にて10対9で勝利し、4年ぶり7回目の優勝に輝きました。また、本校からは4名が優秀選手に選ばれました。

剣道部



団体優勝!



3名出場!

5月9日(金)・10日(土)に行われた第66回栃木県高校総合体育大会兼第72回関東高校剣道大会県予選会にて男子団体が優勝しました。また、個人の部でも藤田悠叶さん(3年・壬生・壬生中)が優勝、大河原靖太さん(2年・小山・小山第三中)が準優勝、鈴木大聡さん(3年・壬生・壬生中)が第3位に輝きました。

サッカー部



準優勝!

ラグビー部



準優勝!

陸上競技部

男子

800m	6位	内海 勇篤(2年・羽生・南中)
5000m	2位	高久 拓己(3年・栃木・栃木西中)
3000mSC	4位	横山 諒(2年・朝霞・朝霞第一中)
やり投	2位	川鍋比呂斗 (3年・佐野・あそ学園園義務教育学校)
円盤投	2位	礪 智成(3年・佐野・西中)
	6位	倉本正太郎(3年・古河・総和南中)
砲丸投	6位	倉本正太郎

女子

走幅跳	5位	小川 萌香(3年・宇都宮・鬼怒中)
三段跳	3位	小川 萌香
4×100mR	6位	小川 萌香 須田 彩希(2年・栃木・東陽中) 小島穂乃果(1年・佐野・南中) 塚本 愛梨(3年・壬生・壬生中)



女子リレー創部以来初出場!

ゴルフ部

速報!

団体男女、個人男子10名・女子3名出場!



編集 後記

SANICHI コモンズが竣工し、ランチタイムや放課後の新たな活動の場として賑わいを見せている。たくさんの笑顔が行き交うこの場所で人との出会いを大切にしながら、挑戦し続けていこう。
(広報佐野日大 編集委員一同)

広報佐野日大 VOL.241

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://high.sano-nichidai.jp/>